

中学校社会科（歴史的分野）学習指導案

単元名 奈良時代の土地と税制	内容のまとめり B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本 (ウ) 律令国家の形成
-----------------------	--

1 単元目標

- ・日本は東アジアとの接触や交流の影響を受けて、律令国家としての仕組みを整えたことを理解する。
- ・律令政治の広まりと、それに伴う社会の変化の様子を、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・律令国家の確立が人々の暮らしに与えた影響について、さまざまな資料を読み取り、主体的に追究しようとする態度を養う。

2 単元を通して身につけさせたい資質・能力

古代までの日本について学ぶとき、「日本」といっても奈良県の飛鳥地方や平城京ばかりが政治の表舞台として取り上げられることが多く、横浜の生徒たちが「身近さ」や「自分とのつながり」を感じるのが難しい。そこで、本単元で奈良時代の都筑郡（現横浜市域）に着目することで、生徒たちが平城京と都筑郡（現横浜市域）という律令政治の空間的な広がりや政治的影響力の大きさを感覚的に捉えられるのではないかと考えた。

横浜市歴史博物館には、精巧に再現された大きな都筑郡衙（ぐんが）のジオラマと当時を知るたくさんの所蔵品がある。教科書には載りきれないこれらの史料をもとに、生徒たちが「身近さ」や「自分とのつながり」を感じながら律令国家の仕組みが整えられる過程を理解できるようにしたい。

3 実践計画の概要

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
・律令政治のもとで整えられた役所や行政区分などの仕組みを理解する。 ・史料から、奈良時代の都筑郡（現横浜市域）の様子と、平城京とのつながりを読み取ることができる。	・史料から、都筑郡衙の役割や人々の暮らしを多面的・多角的に考察し、その様子を適切に表現している。	・地域（横浜市域）の歴史への関心を高め、奈良時代の都筑郡（現横浜市域）の様子と、平城京とのつながりを主体的に追究しようとしている。

(2) 指導と評価の計画 [3時間扱い]

主な学習活動と内容 時間	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
1 律令政治の始まり 大宝律令によって整えられた社会の仕組みを確認する。 平城京と人々の生活をイメージする。	◆二官八省の役所のしくみ ◆五畿七道の行政区分 ◆平城京復元模型と長安城の比較
2 奈良時代の土地と税制 本時 当時の人々の生活をイメージする。 律令政治の確立により、中央と地方が繋がったことを理解できるようにする。	◆絵入り地図 (資料1) ◆官人の七つ道具 (資料2) ◆官人の仕事風景 (資料3) ◆ジオラマ全体図と拡大写真 (資料4)
3 聖武天皇の政治と天平文化 鎮護国家思想と時代背景を考察する。 天平文化の特色を理解する。	◆東大寺正倉院宝物 ◆東大寺大仏殿・歴史書・遣唐使の活躍 ◇東アジアとの接触や交流を受けて国際色豊かな文化が栄えたことを理解できるようにする。

4 本時目標

- ・ 奈良時代の都筑郡 (現横浜市域) に関わるさまざまな資料を読み取り、当時の人々の生活の様子を主体的に追究する。
- ・ 律令政治の確立による地方 (現横浜市域) への影響と、人々の生活の変化について考えを深める。

5 本時展開

主な学習活動と内容	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
・ 奈良時代、律令政治の始まりによって地方 (現在の横浜市域) にはどのような影響があったのか予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>S: 現在の横浜市域には「都筑郡」「久良郡」などの地名があり、「武蔵国」や「相模国」の一部だった。</p> </div>	◆資料1 (絵入り地図) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】</p> <p>T: 現在の横浜市域は、奈良時代どのような様子だったのだろうか。</p> </div> ◇当時の地名だけでなく、都と都筑郡のつながりについて気付けるようにする。 ◇律令政治のもとで国や郡といった行政区域ができたことを補足する。
・ 資料から当時の役人の仕事を読み取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>S: 墨や筆など習字セットのようなものがあるから、記録をとっていたのではないか。</p> <p>S: 米俵が描かれているから、税の管理をしていたのではないか。</p> <p>S: 記録用の木簡は、表面を削り取って繰り返し使っていたのではないか。</p> </div> ・ 都筑郡衙 (ぐんが) のジオラマから当時の役所の役割に気付く。	◆資料2 (官人の七つ道具) と資料3 (仕事風景) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】</p> <p>T: 奈良時代、都筑郡衙で働く役人たちはどのような仕事をしていたのだろうか。</p> </div> ◇役人たちの道具はどのような目的で使われたか、自由に考える時間をとり、意見を引き出す。 ◆資料4 (ジオラマ全体図と拡大写真) ◇資料4から、郡衙の建物にどのような特徴があるか挙げさせる。地域でとれた稲や特産物などがいった

<p>【予想される生徒の反応】</p> <p>S: 倉庫のような建物に税を保管していたのではないか</p> <p>S: たくさんの人が荷物を持ち、列になって、どこに行くのだろうか？</p>	<p>ん保管され、人が担いで都や国府に運びに行っていることを読み取れるようにする。</p> <p>【発問例】</p> <p>T: 都筑郡衙はどのようなことをする場所だったのだろうか。</p>
<p>・地図から都と横浜のつながりを読み取る。</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>S: 大宰府まで道はつながっていて、防人に行くこともあった。</p> <p>S: 米だけでなく、午や布などさまざまな税の種類があった。</p>	<p>◇さまざまな税の管理のために、資料2（官人の七つ道具）が使用されていたことに気付かせる。</p> <p>◇教科書を使って奈良時代の税の種類と人々の負担について知識を整理する。</p>
<p>・律令政治の始まりによって、都と地方が繋がったことや人々に税の負担が始まったことを確認する。</p>	<p>◇奈良時代の税制と人々の生活の変化を理解させる。</p>

6 博物館との連携（参考文献など）

資料1 絵入り地図（横浜市歴史博物館 奈良時代コーナー壁面展示）





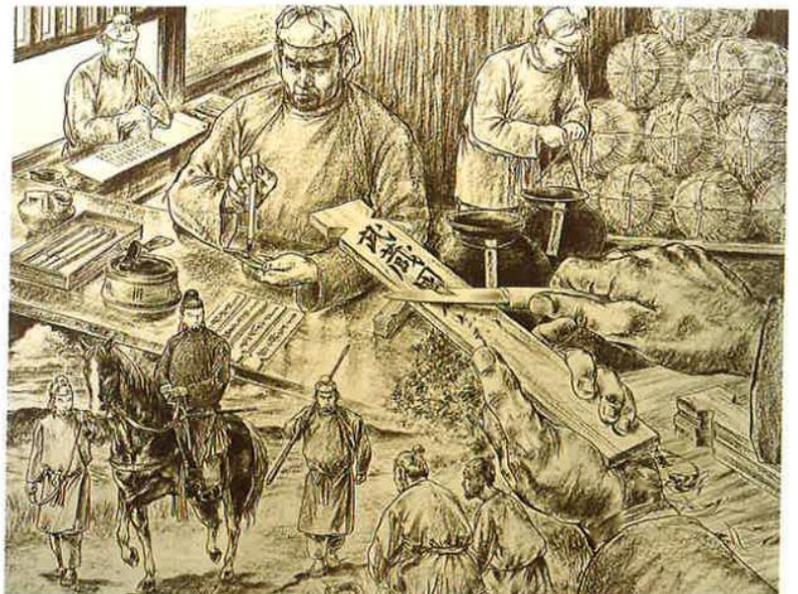
(部分拡大図)

資料2 官人の七つ道具



かんじん
5-官人の七つ道具(復元)
一硯・墨・水滴・刀子・筆・砥石・木筒一

資料3 官人の仕事風景



資料4 都筑郡衙想定復元模型（ジオラマ）全体図と拡大写真



○参考文献

横浜市歴史博物館発行「常設展示案内」

横浜市歴史博物館発行「古代の役所と地域社会—誕生！古代横浜の郡家—」